

大湾区情報 No. 37

グレーターベイエリア情報 発行：2022年6月7日



【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【香港国際空港に接続するスカイピアターミナル 2023年オープン 香港珠海マカオ大橋経由のトランジット旅客に対し空港税 120ドル免除】](#)

[【大湾区初の自動運転インテリジェンス研究センター、深圳に誕生】](#)

[【大湾区国際消費ハブプロジェクトの推進 広東省の内外循環リンクを構築】](#)

[【香港国際空港に接続するスカイピアターミナル 2023年オープン 香港珠海マカオ大橋経由のトランジット旅客に対し空港税 120ドル免除】](#)



香港政府は、香港・珠海・マカオ大橋(以下「港珠澳大橋」)を利用し、スカイピアターミナル(SkyPier Terminal 以下「SPT」)経由で、陸路で香港国際空港に

到着し、香港国際空港から出境するトランジット旅客に対し、空港税の支払免除とする旨を5月20日の官報に掲載しました。

この免除は、2023年に予定されているSPTのオープンに足並みを揃えたものです。オープンのあかつきには、大湾区からの陸路～空路のトランジット旅客は、香港空港管理局認可の陸上交通機関で港珠澳大橋経由でSPTを通じて、香港国際空港に到着し、飛行機に乗り換え出国することができるようになります。これは、スカイピアフェリーターミナル（現存の広東省各地とのフェリーによる接続）での海路～空路乗り継ぎ旅客の手配とほぼ同じになる予定です。

香港空港管理局は、より多くの中国本土、マカオの旅客に香港国際空港での乗り換えを選択してもらうことが、大湾区および国際航空ハブとしての香港の地位を高めることにつながると述べています。

香港空港管理局の規定では、香港から飛行機で出境する12歳以上の乗客は、空港税として120香港ドルを支払う必要があり、航空券の代金と一緒に徴収されますが、上記の基準を満たした対象となる乗客は、空港税の支払いが免除されることとなります。

【大湾区初の自動運転インテリジェンス研究センター、深圳に誕生】



5月25日、深圳市南山区に大湾区で初の自動運転インテリジェンス研究センターである「深圳自動運転インテリジェンス研究センター」が開設されました。

研究センターは、世界トップレベルのアルゴリズムを把握することから始め、自動運転産業の発展の妨げとなる重要な技術問題の解決に取り組み、大湾区のイノベーション協力を総合的に深め、自動運転ロードテスト結果の相互承認を推進し、川上・川下産業チェーンの主要企業を結びつけ、自動運転産業クラスターを構築し、大湾区における自動運転の産業応用および技術強化を促進させることを計画しています。

現在、深圳市では「20+8」産業クラスター計画戦略の展開に力を入れています。インテリジェント・コネクテッド・ビークル産業（以下ICV産業）は、深圳市が力を入れている20の戦略的新興産業クラスターの1つです。南山区は、

中国で最も ICV 産業が集中している地域の一つであり、強力な産業基盤、完全なる産業チェーン、企業の強いイノベーション能力などの優れた優位性を持っており、開かれた政策環境と整ったロード・ネットワーク・テスト環境により、ICV 産業の繁栄にとって優れた条件を備えていると言えます。

同センターは、香港科技大学、清華大学（北京）、スイス連邦工科大学チューリッヒ校、シンガポール南洋理工大学など、国内外の有名大学・研究機関のイノベーションリソースを背景に、産学共同研究を推し進め、業界ベンチマーク・ソリューションの創出、マルチビークルシステムによる協調、路車協調システム、産業物流、消費者への配送、セキュリティ検査、有人シャトル、港や空港などの無人化シナリオの成果転換と応用実証の強化、「国際ファーストクラス、イノベーション主導、標準化優先、実証主導」の ICV 産業クラスターの構築を支援します。

【大湾区国際消費ハブプロジェクトの推進 広東省の内外循環リンクを構築】



初夏、広州、南沙港。江西省贛州市産の家具を積んだコンテナが鉄道で港に到着し、そのまま船積みされてマレーシアのペナンまで航海し、「贛州市-南沙-東南アジア」という新しい鉄道+海路経由の輸出ルートが開通となりました。以来、南沙を「支点」として、贛州市など内陸地域と「一帯一路」沿線の国との貿易が双方向で実現しています。

過去5年間、広東省は経済循環を制限する重要な阻害要因の排除に尽力し、円滑な流通をより広範囲に促進するために努力してきました。昨年、広東省の対外貿易輸出入額は初めて8兆人民元を超え、消費財小売総額は4兆4,200億人民元に達し、経済的ダイナミズムは向上を続け、内外貿易の一体化発展のレベルは継続的に上昇しています。

市場の統合 質の高い貿易発展のための10プロジェクトの実施

先日の「五一」労働節ゴールデンウィーク連休には、広東省各地でキャンプ熱が高まりました。「今年に入ってから、アウトドアスポーツ製品の総売上高は5倍増となっています。」と広東メスカスポーツ株式会社（Mesuca Sport Guangdong Co., Ltd.）の総経理である葉偉倫氏は述べました。コロナ禍においてアウトドアレジャーなどの新しい成長点が生まれました。「中国国内でブーム

となったキャンプ熱に対し「ワンタッチ式」オープンテントが多数販売され、また同時に海外マーケットにおいても、より消費者のニーズに合った商品が販売されています。」と葉氏は語りました。

2021年、広東省はデジタル貿易、広東貿易グローバルブランド、主要貿易プラットフォーム、大湾区の国際消費ハブ、通関円滑化改革などを含めた「質の高い貿易発展のための10大プロジェクト」の実施を計画しました。

—広東貿易グローバルブランドプロジェクトを推進し、国内外貿易一体化の発展を促進：

2021年、147の「広東貿易グローバル」（粵貿全球）イベントと102の「広東貿易ナショナル」（粵貿全国）イベントが開催されたことにより、電子、インテリジェント家電、アパレル、照明など、広東省の優位性のある製品が国内外の販路を開拓し、国内外の両マーケットをスムーズにスイッチできるよう支援します。

—主要な貿易プラットフォームプロジェクトを推進し、資源配分能力を強化する：

南沙輸入デモンストレーションゾーンにおいて、自動車貿易、航空機リース、コールドチェーン物流など6大輸入プラットフォームの建設を開始し、国家レベルの対外貿易モデルチェンジ・アップグレード基地は47ヶ所に達しました。

—大湾区における国際消費ハブプロジェクトの推進とハブ機能の強化：

広州市は国際消費センター都市として最初に育成される5都市のひとつに選ばれ、珠海、仏山、東莞、汕頭、湛江、韶関などの市は、内需拡大による消費レベルアップをベースに地域消費センター都市として育成・建設が行われることになりました。

一方では、国内の超大規模マーケットの優位性の活用により国家主要地域発展戦略とのリンク強化を行い、積極的に国内販売ルートを拡大し、統一された大きな国内市場の経済的厚みの拡大を押し広げていきます。またもう一方では、国際マーケットの多様化、バランスのとれた輸出入貿易、新貿易モードの発展を加速させ、貨物貿易における「優進優出（高品質製品の輸出入）」及び「優質優価（高品質製品は高値で販売）」を推進し、この5年で、広東省の国内外貿易は共に発展してきました。対外貿易の輸出入総額は2017年の6兆8,200億人民元か

ら 2021 年の 8 兆 2,700 億人民元に増加し、36 年連続で全国 1 位、消費財の小売総額は 2017 年の 3 兆 8,000 億人民元から 2021 年の 4 兆 4,200 億人民元に増加し、39 年連続で全国 1 位となりました。

スムーズな物流、立体的国際物流ネットワークが本格推進

4 月 27 日、家電製品や皮革、アパレル製品など 1,147 トン以上を積んだ 3 便の中国－ヨーロッパ列車が広州大朗国際貨運駅を出発し、それぞれ内モンゴル自治区のエレンホト、新疆ウイグル自治区のコルガス、雲南省シーサンバンナのモーハン税関経由でロシアのモスクワとラオスのビエンチャンに運送されました。3 つの路線で同日に出荷されたのは広州の中国－ヨーロッパ列車が開通以来初めてであり、「広東産製品が広東省から輸出」の国際物流ルートの往来はますます盛んになっていきます。

広東省での中国－ヨーロッパ列車の発送量は 2017 年の 200 便から 2021 年には 426 便に増え、出発地は 6 カ所に拡大し、貨物貿易の形態は一般貿易から越境 EC、国際郵便小包、マーケット購買貿易などに拡大しました。現在、大湾区からは、1 日平均 1 本以上の便が発車しています。

広州白雲空港 T2 ターミナル使用開始、韶関丹霞空港開港、湛江吳川空港使用開始、惠州空港拡張工事、揭陽潮汕空港拡張工事完了、白雲空港三期拡張工事、深圳空港張工事、珠海空港改装拡張工事实施等々、空港の建設も本格的に推進されています。広東「5+4」基幹空港計画は、キャパシティ拡大と質の向上を急激に進めており、民間輸送空港の旅客・貨物・郵便処理能力は、それぞれ 1 億 5,000 万人/年、500 万トン/年に達しています。

海港の拡張についても、ますます加速しています。深圳塩田港は、2021 年には処理能力 1,416 万 TEU、週単位の航路数 106 に拡大し、毎日 20 隻以上の大型船が停泊、10 万トン以上、48 億人民元以上の貨物がここを経由して世界に届くこととなります。広州南沙港は、2021 年にはコンテナ処理能力 1,768 万 TEU を有し、世界 100 以上の国・地域の 400 以上の港と貿易往来関係を結んでおり、対外貿易ルートは 138 にも達しています。

ネットワークシステムの形成も拡張しています。大湾区空港共用国際貨物センター、南沙港臨港鉄道、広州鉄道コンテナセンター、広州南沙国際物流センター

北・南区などの物流ハブが稼働し、水陸、水上+鉄道、水空、空陸などの複合輸送モードはますます豊富になりつつあります。2021年には、深圳の塩田港の海陸複合一貫輸送の処理量が28万6千TEUに達し、今年4月時点では、広州南沙港の鉄道海陸複合一貫輸送の総量が1万TEUを超えました。

国内外ルールのリンクが加速 広東省の新たな経済ダイナミクスを活性化

貨物貿易の効率化が図られています。ここ5年間で、広東省では「2ステップ申告」「船側での直接引き取り、港での直接積み込み」などの通関改革を総合的に進め、貨物の通関プロセス全体を「ペーパーレス化」し、国際貿易の主要業務の「シングル・ウィンドウ」適用率は100%に達しました。最新の税関データによると、今年の広東省の輸出入全体の通関時間は、2017年に比べてそれぞれ64.02%（輸入）、92.97%（輸出）短縮されたことが明らかになりました。

海外からの投資も引き続き急速に増加しています。ここ5年間で、広東省は省のリーダーが多国籍企業と連絡するためのスルードレイン（直通車）の仕組みを開設し、「外商投資法」を徹底的に実施、「広東省多国籍企業本部型企业設立奨励弁法」を実施、中国における外国投資家の権益保護に関する初の地方条例が導入されました。外資の実際の使用額は2017年の1,383億人民元から2021年には1,840億人民元に増加し、年平均増加率は7.4%、外資系企業は累計で19万社近く設立され、約5,350億米ドルの外資呼び込み、総額は中国国内で1位となっています。

【参考資料】

・香港国際空港に接続するスカイピアターミナル 2023 年オープン 香港珠海マカオ大橋経由のトランジット旅客に対し空港税 120 ドル免除 (HKET 2022 年 5 月 18 日)

・大湾区初の自動運転インテリジェンス研究センター、深圳に誕生

・大湾区国際消費ハブプロジェクトの推進 広東省の内外循環リンクを構築